

## 投 稿 規 定

1. 本誌への投稿は、原則として本会会員のものに限る。
2. 原稿は、本会の目的に関係のある原著、総説、臨床報告、内外文献紹介、学術記事、その他で、未発表のものに限る。
3. 原稿は、Wordソフトをなるべく使用する。和文原稿は、A4版横書き、10.5ポイント、横40字、縦30行とし、英文原稿は、A4版、ダブルスペースで、1頁につき横60字、縦30行以内とする。
4. 論文の長さは、原著および総説の場合、刷り上がりで10頁以内(図表を含み、表題、所属、著者名、連絡先を除いて、およそ和文400字詰め原稿用紙30枚以内)とし、臨床報告およびその他は、刷り上がりで4頁以内とする。
5. 図、表、写真は、1枚ずつ別に添付し、図1、表1のように順番を付し、文中に挿入位置を明示する。図表の裏面には、著者名を付す。図の題名は下方に、表の題名は上方に簡潔に記す。図表はモノクロ印刷で判明できるもので、なるべく鮮明なもの(解像度300dpi以上)を添付する。作成するソフトはPowerPointまたはJPEG、TIF、GIF形式のデータとする。
6. 原著、臨床報告などの記述の順序は以下を原則とする。  
和文原稿では表題、所属、著者名(以上英文を併記し姓名はYAMADA Hanakoのように記述する)、和文抄録(500字以内)、英文抄録(200語以内)、内容を示す英語のkeywords(3~5個)、緒言、方法、結果、考察、結論、文献とする。  
英文原稿は、和文原稿の記述に準じ、Abstract(200語以内)、Keywords(3~5個)、Introduction, Methods, Results, Discussion, Conclusions, Referencesに分けて記述し、和文抄録(500字以内)を添付する。なお、臨床報告およびその他の論文については、抄録と英文抄録は必要としない。
7. 単位はmeter-kilogram-second (mks) 単位とし、和文原稿用紙の数値は算用数字を用いる。英語の綴りは米国式とし、本文中に略語を使用する場合は、その単語を最初に用いる箇所で、原語を記載の上( )内に略語を併記する。
8. 文献の書き方は次の形式による。  
本文中には、文献の出所順にその部位の右肩に文献番号1) 2) 3) を付ける。
  - a. 各文献は出所順に1), 2), 3) の番号を付し、文末に一括記載する。
  - b. 和文雑誌は公式の略称を用い、欧文雑誌名はIndex Medicusの略称に従う。
  - c. 著者名は、3名以下の場合全員、4名以上の場合3人目まで書き、後は英文雑誌の場合は「et al」、和文雑誌の場合は「他」とする。
  - d. 文献の書き方は、雑誌の場合は著者氏名:論文題名. 雑誌名(類似の誌名のあるときは発行地) 巻:頁-頁, 西暦年号の順に、単行本の場合は著者誌名:書名. 発行所名, 発行地, 発行年次. の順に、単行本の中の論文については、著者誌名:論文題名. 編者または監修者名:書名. 発行所名, 発行地, 頁-頁, 発行年次. などとする。インターネットの場合:著者名, 資料名, サイト名, アップデート年, URL(資料の検索年月日)とする。

記載例：

- 1) Diamond M, Sigmundson HK: Sex reassignment at birth: long term review and clinical implications. Arch Pediatr Adolesc Med 151: 298-304, 1997.
- 2) 日本精神神経学会性同一性障害に関する特別委員会：性同一性障害に関する答申と提言：精神経誌 99：553-540, 1997.
- 3) Kaplan H: Sexual Aversion: Sexual Phobias and Panic Disorder. Brunner/Mazel, New York, 1987.
- 4) 阿部輝夫：セックス・カウンセリング. 小学館, 東京, 1997.
- 5) 大川玲子:女性の性反応. 日本性科学会監修:セックス・カウンセリング入門改訂第2版. 金原出版, 東京, 33-35, 2005.
- 6) 厚生労働省. 国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部：医薬品安全性情報Vol.12 No.17(2014/08/14). <http://www.nihs.go.jp/dig/sireport/weekly12/17140814.pdf> (2020年8月10日検索)
9. 論文の採否は、査読を経て編集委員会で決定する。査読者は編集委員会が委嘱する。掲載は原則として採用順とする。
10. 印刷の初校は著者が行う。ただし、校正は字句の修正にとどめる。その他の校正は編集委員会が行うものとする。
11. 掲載料は刷り上がり10頁まで無料とし、それを越えるものおよび写真に関する費用は著者実費負担とする場合がある。別刷りを希望する場合は有料とする。
12. 投稿は原則電子メールへの添付により行う。また、所定の学術論文投稿倫理規程誓約書、利益相反自己申告書に署名捺印し、PDF等で電子メールに添付・送信し提出する。また、紙媒体に印刷したものも事務局宛に「原稿在中」と表書きし郵送する。
13. 本誌に掲載された論文の著作権(コピーライト)は日本性科学会に帰属するものとする。
14. 投稿先は下記宛先とする。

日本性科学会事務局：office@sexology.jp

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-3 森島ビル4F

日本性科学会 学会誌編集委員会

日本性科学会雑誌編集委員会  
編集委員長 中塚 幹也  
責任編集委員 早乙女智子  
今井 伸  
佐藤 正美  
田中 奈美  
奥村 敬子  
西 佳子

# 日本性科学会

## 学術論文投稿及び学会発表倫理規程誓約書

題名： \_\_\_\_\_

著者： \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

以下の通り申告いたします(該当する箇所の□に✓を入れてください)。

- 本論文あるいは発表内容は他の学会や雑誌等で未発表である。
- 本論文は他の学会誌や雑誌等に二重投稿はしていない。
- 本論文あるいは発表は「人を対象とする医学系研究」に該当する。
- 特定の施設名称や個人情報には匿名化している。
- ヘルシンキ宣言、文部科学省・厚生労働省「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」、日本性科学会、その他の関連学会の倫理指針及び個人情報保護法を遵守している。
- 本論文の投稿は共同執筆者(共同研究者)の了解を得ている。
- 本論文では他者の論文や他者の発表の文書や図表などを用いる場合、その引用を明記している。
- 診療に関する発表は関連する医療専門職(有資格者)の指導または確認を得ている。
- 本論文の倫理的事項に関しては、倫理的配慮が行われていることを本文中に明記する(所属する施設の倫理委員会の承認を得ていることが望ましい)。

倫理委員会名： \_\_\_\_\_ 承認： \_\_\_\_\_ 年 月 日

(倫理委員会での承認が必要のない場合は記入されなくて結構ですが、編集委員会・倫理委員会で問題点が指摘された場合には、お問い合わせをさせていただくことがあります)

本論文が採択された場合は、その著作権を日本性科学会に移譲することに同意いたします。

上記内容に相違のないことを誓います。

\_\_\_\_\_ 年 月 日

論文・発表筆頭者署名： \_\_\_\_\_ (捺印)

日本性科学会雑誌  
利益相反自己申告書

年 月 日

申告日前3年間について記載してください。

氏名： \_\_\_\_\_

所属： \_\_\_\_\_

	金額（年間）	該当の状況	該当のある場合企業名等
役員・顧問職への就任	100万円超	有・無	
株式	利益100万円超／ 全株式の5%超	有・無	
日当・講演料・ 座長料など	50万円超	有・無	
原稿料	50万円超	有・無	
研究費・助成金	100万円超	有・無	
奨学寄付金	100万円超	有・無	
旅費・贈答品等	5万円超	有・無	